富良野市地域公共交通協議会

令和3年3月15日設置

概　要

富良野市は、北海道のほぼ中心に位置し、人口 21,595人（令和2年1月1日現在）、東西に約 32.8km、南北に約 27.3km、総面積600.71 ㎢で、市域の7割を山林が占めている。 市内の交通状況は、国道 38 号線と国道 237 号線が通っており、札幌市、帯広市まで車で約 2時間、旭川市まで約 1時間の圏域となっている。当市では公共交通の要である路線バスの路線を平成21年と24年に一部廃止としており、現在は4路線での運行となっている。JRについては、平成29年に島ノ下駅を廃止している。根室本線の富良野駅－新得駅間は、JR北海道が平成 28 年に発表した「当社単独では維持困難な線区」において、輸送密度が 200 人未満の線区で他の交通機関への転換を相談する線区に該当している。その他の交通手段として、タクシー会社が市内に2社あり、3地域でコミュニティカーを運行している。

○地域公共交通の現況

・JR根室本線、富良野線（市内4駅）　・スクールバス（2路線）
・ふらのバス㈱　（市内5路線）　・タクシー（2事業者）
・コミュニティカー（市内3地域）

○地域公共交通の課題

・根室本線の富良野駅－新得駅間が単独維持困難線区であり、今後の移動手段確保のあり方
・バスへの赤字補填経費や交通事業での人手不足

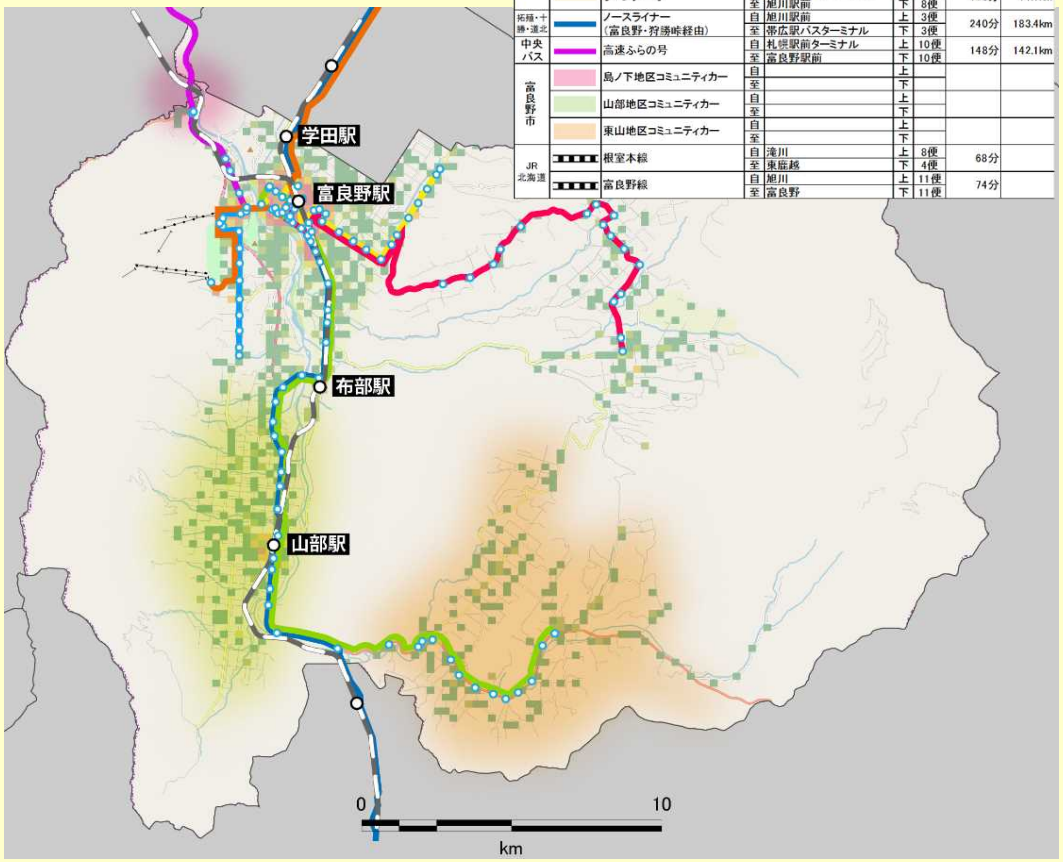
○調査の主な内容

・市民ニーズ調査（意見交換会によるニーズの詳細把握など）
・交通事業者等状況調査（ヒアリングによる経営状況把握など）
・計画策定に向けた追加現状調査等

○地域公共交通活性化協議会開催状況

令和4年8月22日　第1回協議会を開催
・各種調査結果を踏まえた地域公共交通計画（素案）について
令和4年12月28日　第2回協議会を開催
・事業者意見等を反映した地域公共交通計画（素案）について

公共交通の概要



運行主体	凡例	路線名	区間		便数		所要時間	運行距離
ふらのバス㈱		西達布線	自	協会病院	上	5便	50分	31.2km
			至	西達布	下	5便		
		麓郷線	自	協会病院	上	4便	45分	23.4km
			至	麓郷	下	4便		
		御料線	自	協会病院	上	3便	21分	8.6km
			至	9線	下	4便		
		麻町線	自	富良野駅	上	3便	29分	12.1km
			至	鳥沼7号	下	4便		
		ラベンダー号	自	新富良野プリンスホテル	上	8便	120分	71.1km
			至	旭川駅前	下	8便		
拓殖・十勝・道北		ノースライナー（富良野・狩勝峠経由）	自	旭川駅前	上	3便	240分	183.4km
			至	帯広駅バスターミナル	下	3便		
中央バス		高速ふらの号	自	札幌駅前ターミナル	上	10便	148分	142.1km
			至	富良野駅前	下	10便		
富良野市		島ノ下地区コミュニティカー	自		上			
			至		下			
		山部地区コミュニティカー	自		上			
			至		下			
		東山地区コミュニティカー	自		上			
			至		下			
JR北海道		根室本線	自	滝川	上	8便	68分	
			至	東鹿越	下	4便		
		富良野線	自	旭川	上	11便	74分	
			至	富良野	下	11便		

富良野市地域公共交通協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

（1）意見交換会

・　市内の公共交通の現況や事前に実施した住民アンケート調査の結果を報告し、市内公共交通の問題点や課題について認識の共有を図るとともに、アンケート調査では把握しきれない利用実態やニーズを把握し、今後の計画策定における方向性の検討の基礎資料とすることを目的とした。

対象地区	開催日時	参加人数
東山地区	令和４年１１月１０日（木）１３：３０～	７名
麓郷・布礼別地区	令和４年１１月１０日（木）１５：３０～	２名
市街地地区①	令和４年１１月１０日（木）１８：００～	１０名
市街地地区②	令和４年１１月１１日（金）１３：３０～	７名
山部地区	令和４年１１月１１日（木）１５：３０～	３名

左記の地区を対象に、下記の内容等を把握
・買い物や通院などの日頃の生活移動について
・日頃の公共交通の利用状況について
・居住している地区に望ましい公共交通のあり方について

【東山地区】
■買い物や通院などの日頃の生活移動について
・自動車が主な移動手段
・コミュニティカーは東山地区内での移動に限られており不便
■日頃の公共交通の利用状況について
・西達布の郵便局、東山の農協がなくなったので、山部まで行くことも
・そもそもバスに乗れなくなってしまい、コミュニティカーの利用は減っている
・自動車から介護タクシーの利用にシフトしてしまい、公共交通の利用に反映されないと思う
・バスの便数が少なく、帰りの時間帯が遅くなり不便
・バスのステップが高いため、乗降に危険性が伴う
■居住している地区に望ましい公共交通のあり方について
・バスから降りて徒歩圏内に利用したい施設があるような路線、停留所の設置が重要
・バスの待ち時間を安心して過ごせるような空間の創出
・鉄路の廃止に伴い、南富良野町経由のバス路線が構築されると少し移動しやすい
・東山地区も含め各地区の魅力が向上するようなまちづくりが重要
■その他
・樹海学校への山村留学といった振興もあると思う
・移住・定住につながる施策・取り組みの検討が重要

【麓郷・布礼別地区】
■買い物や通院などの日頃の生活移動について
・買い物、通院等、週1回以上は行くので、これから冬の道路交通確保が重要
・中富良野町に買い物で行く人は比較的多め
■日頃の公共交通の利用状況について
・バス路線から近い人は一定の利用はあるが、遠い人は、ほとんど利用できていない状況
■居住している居住している地区に望ましい公共交通のあり方について
・除雪が行き届かないと移動がそもそもできないため、除雪対策は配慮してほしい
・当面は、現状の公共交通体制を維持してほしいと思う
・バス停まで行く手段の確保は今後、需要が高くなると思う
■その他
・老人クラブなど既存の集まりで意見交換を行うことは重要
・開催周知方法の工夫は必要（広報などはなかなか見ない）

【東山地区】

【麓郷・布礼別地区】

富良野市地域公共交通協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【市街地地区①】
■買い物や通院などの日頃の生活移動について
・島の下地区ではコミュニティカーで病院に直通で行けない
・北の峰地区では高速バスの通院利便性が高い
・JRで旭川に通院に行く際に利用したい時間帯が合わない
・高齢者は旭川まで行くには自動車では怖く、バスを使うが、トイレがない
■日頃の公共交通の利用状況について
・市街地地区では、ほぼ利用がない
・島の下地区では、公共交通の降車場所は便利と思うが、時間帯が合わない
■居住している居住している地区に望ましい公共交通のあり方について
・島の下地区では自家用有償運送（白ナンバー）だと利用・運営しやすいと思う
・行きたい施設（特に通院）に乗り入れ、近場で乗降できると良い
・バス停までの移動が困難になってきている住民もおり、工夫が必要
・ちょいのりタクシーも活用した移動ができると、より良い
・市街地内は施設立地と関連づけた（まちづくりと連携した）路線が有効と思う
■その他
・運行するバス車両は燃費についても配慮いただきたい
・JR、バスなど公共交通間での連携は重要

【山部地区】
■買い物や通院などの日頃の生活移動について
・農村部では自動車に乗らざるを得ない
・富良野駅で自動車を置いて旭川市へJRで、と思っても駐車場所がなく不便
・JRでも滝川市、旭川市までの移動時間は長い
■日頃の公共交通の利用状況について
・減便が進み、利用時間帯が合わなくなり、利用しにくくなっている
・運転できなくなったら最悪の場合、移住が必要な状況
・病院か駅までしかコミュニティカーが利用できないため不便
・富良野駅はバリアフリーが進んでおらず、JR利用が難しい
■居住している地区に望ましい公共交通のあり方について
・通学も立ち行かなくなることが想定されるため、検討が重要
・乗合によって利用運賃が安くなる仕組みがあると、利用しやすいと思う
・公共交通が利用しやすい利用促進策が必要
・コンパクトシティありきではなく、各地区で営まれる生産空間の維持も必要
■その他
・JRやバスによる輸送が適切ではない時代になってきている
・観光客からレンタカー以外の二次交通が不足している、と聞いている
・地域おこし協力隊などを活用した移住・定住促進（まちづくりの観点を踏まえ）

【市街地地区②】
■買い物や通院などの日頃の生活移動について
・麻町線を利用している
■日頃の公共交通の利用状況について
・停留所に行くことが大変な人は多い
・布部地区では免許返納後はタクシーしかない
■居住している居住している地区に望ましい公共交通のあり方について
・市街地周辺までにちょいのりタクシーが広がると良い
・スマートフォンで予約した上で、運行する公共交通が望ましいではないか
・ドアトゥドア型の公共交通が望ましい
・現金だけでなく、交通系ICや電子マネーでの決済もできると良い
■その他
・スマホが使えない高齢者は多いと想定されるため、アナログな手法も重要
・利用者の操作手順が少なくなるようなデジタル化が重要
・生活の足を確保した上で、見守りとして役割をもったシステムも有効
・日中時間帯に意見交換等できない方と他部署と連携して実施できると良い

【市街地地区①】

【山部地区】

【市街地地区②】

・事業者ヒアリング内容については、計画に反映
・シンポジウムについては、２月下旬に実施予定

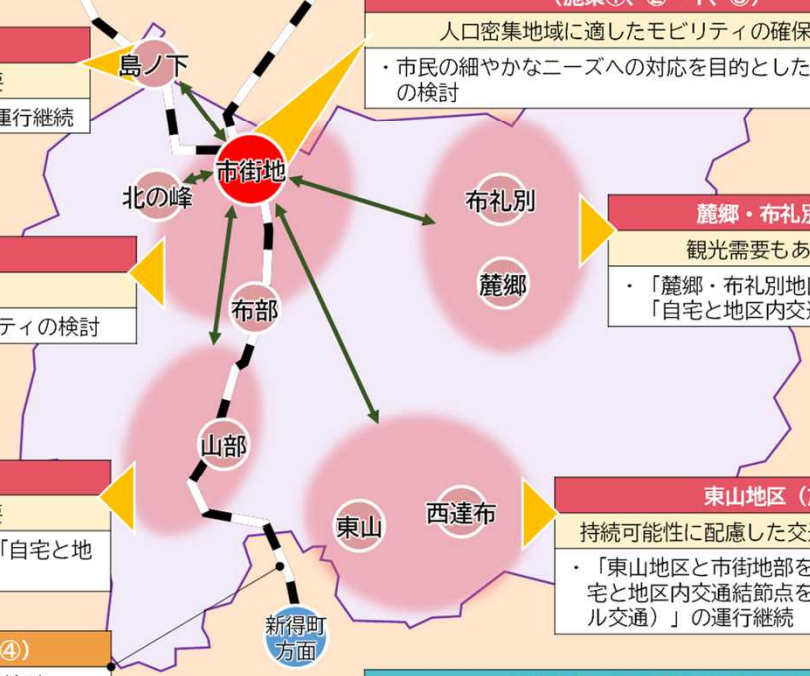
富良野市地域公共交通協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

◎富良野市地域公共交通計画で目指す将来像

基　本　方　針

まちづくりとも連動した総合的な地域公共交通体系の構築
～地域の交通資源を活用した持続可能な公共交通体系の実現～



ＪＲ富良野線（施策③）
・「富良野市と旭川市方面を結ぶ地域間幹線系統」の維持

ＪＲ根室線（施策④）
・利用者数の維持・増加に寄与するような、市内交通からの接続

市街地地区（施策①、②－１、⑧）
人口密集地域に適したモビリティの確保が重要
・市民の細やかなニーズへの対応を目的とした、モビリティの検討

島ノ下地区（施策②－６）
需要に合わせたモビリティの確保が重要
・「島ノ下地区と市街地部を結ぶ移動手段」の運行継続

麓郷・布礼別地区（施策①、②－５）
観光需要もあり、地域活力の維持が重要
・「麓郷・布礼別地区と市街地部を結ぶ移動手段」と「自宅と地区内交通結節点を結ぶ移動手段」の検討

市街地周辺地区（施策①、②－２）
目的に合わせた移動手段の検討が重要
・移動支援を必要としている市民のために適しているモビリティの検討

山部地区（施策①、②－３）
鉄道の情勢も踏まえた生活の足の確保が重要
・「山部地区と市街地部を結ぶ移動手段」と接続する「自宅と地区内交通結節点を結ぶ移動手段」の検討

東山地区（施策①、②－４）
持続可能性に配慮した交通弱者の生活の足の確保が重要
・「東山地区と市街地部を結ぶ移動手段」と接続する「自宅と地区内交通結節点を結ぶ移動手段（ラストワンマイル交通）」の運行継続

ＪＲ根室線（施策④）
・持続可能な交通体系の検討

意識醸成・利用促進（施策⑤、⑥、⑦）
・市民意見の聴取、公共交通の情報発信、決済方法のICT化の検討

まちづくり等との連携（施策⑧、⑨、⑩）
・都市部への移動手段確保、観光交通の検討

目標①	**居住地域によらず公共交通が移動選択肢として位置づけられる市内公共交通網の形成** ・市内各地区に住み続けられる公共交通網の構築に向け、各地区の課題に即した施策の検討・実施が必要なため、各地区別に施策内容の検討・実施するとともに、それぞれのモビリティが有機的に連携されるような市内公共交通網の形成を目指します。
目標②	**市民及び来訪者の広域的な移動のための公共交通の維持** ・富良野市において、旭川市との公共交通による繋がりは、市民の日常生活だけでなく、富良野市への訪問者の移動手段としても重要な要素となっています。 ・一方で、富良野市単独で広域的な交通を維持していくことは難しいため、沿線自治体と連携し、市民及び来訪者の広域的な移動のための公共交通の維持を目指します。
目標③	**公共交通が移動選択肢として捉えられるような取組の実施** ・公共交通をより身近に感じてもらう、公共交通がより利用しやすくなることを目的に、公共交通でも不自由なく、便利に移動できる移動手段として捉えていただけるような取組を実施します。
目標④	**様々な分野と横断した総合的な公共交通サービスの実現** ・まちづくり分野や観光分野など、各種分野の関係者等と連携・協議を図りながら、総合的な公共交通サービスの実現を目指します。

富良野市地域公共交通協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

◎施策の推進状況を確認する評価指標

（1）　目標①「居住地域によらず公共交通が移動選択肢として位置づけられる市内公共交通網の形成」に係る評価指標

評価指標①	西達布線の利用者数	・西達布線の利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	7.7 人/便	7.7 人/便	7.7 人/便	7.7 人/便	7.7 人/便	7.7 人/便
評価指標②	麓郷線の利用者数	・麓郷線の利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	5.5 人/便	5.5 人/便	5.5 人/便	5.5 人/便	5.5 人/便	5.5 人/便
評価指標③	御料線の利用者数	・御料線の利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	3.4 人/便	3.4 人/便	3.4 人/便	3.4 人/便	3.4 人/便	3.4 人/便
評価指標④	麻町線の利用者数	・麻町線の利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	1.4 人/便	2.0 人/便	2.0 人/便	2.0 人/便	2.0 人/便	2.0 人/便
評価指標⑤	山部地区コミュニティカーの利用者数	・交通事業者への委託により運行している山部地区コミュニティカーの利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和２年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	140 人/年	140 人/年	140 人/年	140 人/年	140 人/年	140 人/年
評価指標⑥	東山地区コミュニティカーの利用者数	・東山地域連絡協議会が運行している東山地区コミュニティカーの利用者数を対象に、連絡協議会から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和２年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	2,944 人/年	2,944 人/年	2,944 人/年	2,944 人/年	2,944 人/年	2,944 人/年
評価指標⑦	島ノ下地区コミュニティカーの利用者数	・交通事業者への委託により運行している島ノ下地区コミュニティカーの利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	434 人/年	434 人/年	434 人/年	434 人/年	434 人/年	434 人/年
評価指標⑧	郊外部と市街地を結ぶ公共交通の運行状況	・郊外部と市街地を結ぶ公共交通を対象に、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和４年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	4 路線	4 路線	4 路線	4 路線	4 路線	4 路線

（2）　目標②「市民の広域的な移動を支援する公共交通の維持」に係る評価指標

評価指標①	富良野駅の利用者数	・ＪＲ富良野線及びＪＲ根室線における富良野駅での乗車人数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	236 人/日	236 人/日	236 人/日	236 人/日	236 人/日	236 人/日
評価指標②	ラベンダー号の利用者数	・ラベンダー号の利用者数を対象に、交通事業者から情報提供いただき、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和３年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	7.6 人/便	7.6 人/便	7.6 人/便	7.6 人/便	7.6 人/便	7.6 人/便

（3）　目標③「公共交通が移動選択肢として捉えられるような取組の実施」に係る評価指標

評価指標①	市民意見を聴取する機会の開催回数	・公共交通分野だけでなく、まちづくり分野における市民との対話機会の開催回数を対象に、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和４年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	各地区１回	各地区 １回以上	各地区 １回以上	各地区 １回以上	各地区 １回以上	各地区 １回以上
評価指標②	情報発信媒体の種類	・公共交通情報が掲載されている情報発信媒体の発行状況を対象に、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和４年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	２種	２種以上	２種以上	２種以上	２種以上	２種以上

（4）　目標④「様々な分野と横断した総合的な公共交通サービスの実現」に評価指標

評価指標①	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率	・一定の収入が得られているコミュニティカー運行事業を対象に、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和２年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	2.9%	2.0%以上	2.0%以上	2.0%以上	2.0%以上	2.0%以上
評価指標②	公共交通への公的資金投入額	・ふらのバスが運行する市内バス路線４路線への助成金を対象に、事務局で指標の確認・検証を実施				
	現状値（令和２年度）	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	30,399 千円	前年度 +20%以内	前年度 +20%以内	前年度 +20%以内	前年度 +20%以内	前年度 +20%以内

・下記の協議会委員にとって、計画推進状況の評価推進体制を構築
・PDCAサイクルによる継続的な改善を推進

団体名	団体名
富良野市	富良野市　連合町内会協議会
ふらのバス株式会社	富良野市立　山部小学校
北海道旅客鉄道株式会社	富良野市立　樹海学校
東山地区コミュニティカー運行委員会	富良野市立　富良野西中学校
株式会社富良野タクシー	富良野市立　富良野東中学校
有限会社中央ハイヤー	北海道　富良野高等学校
私鉄総連北海道地方労働組合　ふらのバス支部	北海道　富良野緑峰高等学校
国土交通省　北海道開発局 旭川開発建設部　富良野道路事務所	北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所
北海道上川総合振興局 旭川建設管理部　富良野出張所	北海道運輸局　旭川運輸支局
北海道旭川方面　富良野警察署	富良野市地域公共交通協議会　事務局

●事業実施の適切性

・計画通り事業は適切に実施された。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

・事業は、計画どおり実施されている。
・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
・昨年も調査事業を活用されていることもあり、様々な意見や課題について検討を重ねてこられたと思われるため、課題等を反映した地域公共交通計画をぜひ策定いただきたい。